

新年にあたつて  
「本願力にあひぬれば  
むなしくすぐるひとぞなき  
功徳の宝海みちみちて  
煩惱の濁水へだてなし」  
とお示しいただいております。  
いかなる環境においても、

顕法寺だより  
今年もよろしくお願ひします。

現代社会は混迷の時代と言  
われます。環境問題、経済不  
安、家族の崩壊、年間三万人  
をも超える自死など、社会問  
題が複雑化し、人々の苦悩も  
深刻化しています。

その原因の根底には、他を  
顧みない自己中心的な考えが  
強く反映されているように思  
います。自己中心的な考え方  
であります。親鸞聖人はご和  
讃で

人生を空しく感じるのが一番  
つらいことです。煩惱とは分  
け隔てをすることであり、  
「あのはこうだ」「私はこ  
んななのに」と言つて苦しむ  
のです。

それが、お念佛によつて取  
り扱われます。「あなたの命  
も私の命とともに同じ命であ  
り、互いに敬い、助けあう生  
き方こそ満足感が得られる」  
とあじわわせていただくこと  
であります。人はどうしても  
自分本位になります。他人を  
押しのけ、自分さえよければ  
いいとの思いにかられます。  
その思いこそが、現代社会が  
混迷を深める一番の要因では  
ないでしょうか。

今月より「顕法寺だより」を皆様のもとにお届け  
します。顕法寺の行事や仏教、浄土真宗のことをお  
伝えできればと思います。  
今年もよろしくお願ひします。



「他者」を排除する考え方  
に真の安らぎはありません。  
善と悪に固執する偏見を破り、  
対立の構図を解消できるのは  
仏の智慧と宗祖親鸞聖人がお  
示しになっています。

五十年、百年昔に比べ、社会  
は大きく変化しました。しかし、私たちが今いただく  
「お念佛の教え」は何一つ変  
わることなく多くの先人方が  
脈々と、大切に受け継いでこ  
られ、今私たちに届いており  
ます。

今、私たちが考えなければ  
ならないこと、それは、宗祖  
親鸞聖人のご遺徳を讃えると  
ともに、多くの先人の方の思い  
に応えるべく、今私たちが、  
喜び、心の拠り所としている  
のであります。

なお、「顕法寺だより」は、  
二ヶ月ごとに六回発行する  
予定です。総代、世話人の方  
に皆様のご家庭に届けていた  
だきます。総代、世話人の方  
にはお世話をになりますが、よ  
ろしくお願ひします。

遅くなりましたが  
報恩講にご協力いた  
だきありがとうございました。

淨土真宗のお寺で一年のうちで一番大切な大きな行事が  
「報恩講」です。顕法寺でも  
昨年の十一月二十五日、二十  
六日の二日間にわたって行わ  
れました。今年度も山形県寒  
河江市正善寺山田智海先生を  
迎え、浄土真宗や親鸞さまの  
有り難いお話を聞かせていました  
だきました。

総代・世話人の方には、報  
恩講についての話し合いや、  
門徒の方からの集金、報恩講  
後の「餅くずし」とご協力頂  
きました。

仏教婦人会の方には、前日  
の掃除、おみがき、当日のお  
斎の準備、組内のお寺様方へ  
の接待などご協力いただきま  
した。多くの方のご協力があ  
り、報恩講が実施できたこと  
を本当にありがとうございます。  
お世話をになりますが、よ  
ろしくお願ひします。



## お正月Q&A

「浄土真宗」ってどんな教えなの?  
「お正月」からいろいろ考えてみます。

(仏事Q&A 浄土真宗本願寺派より)

**Q1 念仏すればご利益があるのですか。**

毎年、正月三が日の初詣参

拜者数が話題となります。お守りや破魔矢などを買ったり、絵馬に願い事を書いたりして、今年がよい年でありますように祈つたりします。初詣に行く理由は、「ご利益」があることを期待してからではないでしょうか。

ところでご利益が「ある」「ない」は、どのような状態を言うのでしょうか。「ご利益がある」とは、自分の願つた内容の通りに実現することであり、反対に「ご利益がない」とは、自分が願つた通りにならないことと考えられます。

つまり、ご利益の有無とは、自分の都合によって判断しているのが真実です。これと同じような基準で、念仏を称えることで御利益があると考

るのは、念仏を自分の都合のよい手段としてとらえているのではないでしょうか。

しかし、親鸞聖人は本当の利益(眞実の利)とは、自己中心的な見方から生まれるのでなく、阿弥陀如来の願いそのものであると説かれています。阿弥陀如来の願いは、自己中心の心から抜け出すことの出来ない者を救うことに向かっています。お念仏を申す(称える)身になると、今ここで阿弥陀如来に抱かれ、護られるのです。お寺へ参拝したり、お仏壇やお墓に手を合わせたりすることで、この阿弥陀如來の願いに気づかせていただきます。



**Q2 浄土真宗のお寺には、お守りはないのですか?**

お守りは多くの寺社で参詣者に販売したり授与されたりしているので、浄土真宗のお寺でも取り扱っているのではないかと考えている方もいらっしゃることでしょう。

しかし、浄土真宗のお寺では、お守りを扱うことはありません。お守りを扱うことは親鸞聖人は、「現世祈祷にたよらない」という教えを説かれているからです。お守りには、商売繁盛、家内安全、無病息災などさまざまなものがあります。

「よいことがありますように」とか「悪いことが起きないように」といった願いが込められています。

しかしよく考えてみると、私たちの願いは、ともすれば自分自身の欲望を満足させることにながつていることがあります。残念ながら私たちの欲望は尽きることがあります。残念ながら私たちの逆に、願いが叶わなければ、

とますます苦しむことになります。  
このような欲望の心を持ち合わせている私たちこそ救われにはおられないと願われているのが、阿弥陀如来です。今年は、ゲストに「ノビーさん」を迎え開催することになりました。「ノビーさん」は、震災復興のコンサートを数多く開いたり、復興支援に直接に頼るのではなく「阿弥陀如来に護られている」という教えが浄土真宗なのです。

願うのではなく「阿弥陀如来に願われている」、お守りに頼るのではなく「阿弥陀如来に護られている」という教えが浄土真宗なのです。

二月十一日、顕法寺で仏教婦人会の新年会が行われます。

今年は、ゲストに「ノビーさん」を迎えることになりました。午後一時から「ノビーさん」のミニコンサートを行います。仏教婦人会の方だけではなく、男性もどうぞ聴きにいらつしやつてください。

午後一時から「ノビーさんは、仏教婦人会の役員を通して、会員の皆様に配付しました。たくさんの皆様方の参加をお待ちしています。



**二月十一日（木） 建国記念の日 仏教婦人会の新年会**

仏教婦人会の新年会の案内は、仏教婦人会の役員を通して、会員の皆様に配付しました。たくさんの皆様方の参加をお待ちしています。

二本松在住のトランペッター「ノビーさん」がいらっしゃいます。

トランペッター「ノビーさん」の名前を新聞などで見た方も多いのではないかと思います。

